



アメリカの大学の授業料：幾らぐらい？

アメリカの代表的な総合大学（National Universities）100校の、2009-2010年の大学に直接納入する授業料・諸経費の合計を、州立・私立大学別に、平均・最低・最高の金額を下の表にまとめました。

全米の州立大学は、州政府からの財政援助（税金）で運営されていますので、その州の住民（納税者）が否かで授業料に差をつけています。「州外民」の欄の金額は、「州民」の金額に「州外民」としての追加授業料（non-resident-fee）を加えたものです。

大学により 10 倍の差

一番安い州立大学と一番高い私立大学の授業料の差は約 10 倍あります。また、州立・私立、それぞれの中での差をみると、授業料に 3 倍もの開きがあります。

日本の制度と異なり、アメリカの私立大学へは税金を原資とした補助金はありません。全ての経費を、授業料や寄付に頼っての、独立採算での大学経営です。

一方、収税で運営されている州立大学では、連邦制で独立性の強い州の考え方や財政状況の違いが、その授業料の差となって現れてきます。

このような事情で、大学間の授業料の差が大きくなっていますので、大学選びの際に十分調査が必要です。

一般的な目安としては、「州立大学の授業料は州民で 1 万ドル・州外民で 1 万 5 千ドル、私立大学の場合は 3 万 5 千ドル」といえます。

大学のタイプにより異なる授業料

ここでデータを示した「総合大学」とは、多くの学部と専攻があり、博士課程までを持ち、全米から学生が集まる 4 年制大学のことです。州によっては、総合大学以外に、修士課程までのプログラムしか持たない地域性の強い 4 年制大学も設置しています。そのタイプの大学の授業料は、この表で示した額よりも低いのが一般的です。

その例として California State University の授業料をみると、州民で約 4 千ドル・州外民で約 1 万 4 千ドルです。

その他の費用もお忘れなく！

授業料以外の費用、住居・食事・学用品・個人的費用などの見積り金額を、各大学は発表しています。もっとも大きな差は、寮・アパートなどの住居費で生じています。

大学によりますが、年間 1 万 5 千ドルが標準的な金額だと、理解してください。

☆

最近、アメリカの大学の学費についてのご質問が多くなってきました。「子どもをアメリカの大学へ」という希望と、「アメリカの大学の学費は高い」という情報が、ご質問の背景になっています。そこで、学費を少し調べてみました。

州立・私立を問わず、大学による開きが 10 倍と大きいのが驚きです。私立大学の授業料の高さもはっきり出ています。一方で、別の見方をすると「授業料の安い、お子さんに合ったレベルの高い大学」を探すことも可能です。

2009-2010 Tuition & Fees

		金 額 (ドル)		大 学
州立大学	州 民 In-state	平 均	8,973	47 大学の平均
		最 低	4,373	University of Florida
		最 高	14,416	Pennsylvania State U. -- University Park
	州外民 out-of-state	平 均	24,669	47 大学の平均
		最 低	13,693	State U. of New York -- Stony Brook
		最 高	25,946	University of Michigan-Ann Arbor
私立大学		平均	35,879	53 大学の平均
		最 低	4,290	Brigham Young University -- Provo
			16,075	Howard University
			最 高	41,316

参考：「Best Colleges 2010」U.S. News & World Report,
<http://colleges.usnews.rankingsandreviews.com/best-colleges>
 参考資料の中の「National Universities」の上位 100 の大学のデータを使用。

日本の大学の場合、国立大学で入学金 30 万円・年間授業料 55 万円ですが、私立大学では大学・学部（医学部を除く）で差はあるものの入学金 30 万円・年間授業料 70 万～100 万円・諸経費等 10 万～40 万が標準的な金額です。入学 2 年目からの学費は、国立で 60 万円、私立で 100 万～150 万円が目安です。

「日米どちらの大学へ進学？」も大変多い質問です。それを考えるとき、学費も大きな要素になります。ここで示したデータが、参考になれば幸いです。

（松本）